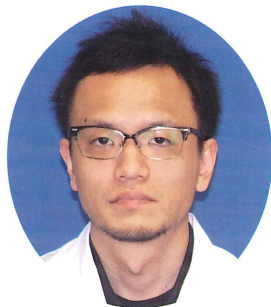


麻酔を受けられる患者様へ

手術のために麻酔が必要な患者様の多くは、これまでにご関心を持つ機会が少ないため、麻酔についてあまり知識がない方が普段の診療で多くおられるように思います。今回を機に、患者様に少しでも麻酔・麻酔科医を知っていただければと思います。



麻酔科 葛川 洋介

麻酔とは？

手術や処置は、痛みや出血、その他のストレスを伴います。このストレスは、手術中だけの問題ではなく、手術後の回復にも影響を与えます。麻酔は、手術が安全に行えるように、手術によるストレスから患者様の身体を守り、全身の状態を良好に維持することを最大の目的とした医療行為です。

麻酔科医とは？

麻酔科医は、手術室に入室してから退室するまでそばに付き添って、患者様の安全を守ります。さらに、手術中の麻酔管理に留まらず、手術前や手術後の患者さんの全身状態を維持・管理するために、細心の注意を払って診療を行います。

実際の麻酔方法は？

- 全身麻酔(ぜんしんますい)：全身麻酔では、吸入麻酔薬や静脈麻酔といった主に脳に作用する麻酔薬を使用し、術中には意識がない深い睡眠状態になります。通常は、点滴から静脈麻酔薬を投与して数十秒以内に意識がなくなりますが、意識がなくなった時点で術中の安全な気道確保のために、気管内に管を入れ(気管挿管)、人工呼吸を行いながら手術終了まで麻酔薬を投与します。気管挿管

の際には、その操作を円滑かつ安全に行うために、筋肉の緊張を取り除く薬を点滴から投与します。全身麻酔薬の投与量は、手術の進行や患者さんの状態に合わせて調整しますので、途中で切れることはありません。手術終了後、麻酔薬投与を中止すると、個人差はありますが10～20分程度で目が覚めます。呼びかけに目を開けたり、手を握ったり、足先を動かせるようになった段階で気管の管を抜きます。麻酔から覚めた後、意識、血圧や呼吸状態が安定していることを確認した後、病室に戻ります。

- 脊髄くも膜下麻酔(せきずいくもまくますい)：横向きの状態で腰から注射を行い、くも膜と呼ばれる脊髄を覆っている膜の中にある脳脊髄液(のうせきずいえき)中に局所麻酔薬を投与することにより、主に下半身の痛覚(つうかく)を遮断する局所麻酔法(きょくしょますいほう)です。帝王切開手術や下肢手術をはじめ、手術部位が臍部以下の下半身に限定される場合が適応となります。脊髄くも膜下麻酔では、痛みの感覚は3～4時間程度でなくなりますが、触れられている感覚は残ります。十分な麻酔範囲が得られない場合には、全身麻酔に変更することがあります。
- 硬膜外麻酔(こうまくがいますい)：背中や腰に注射する局所麻酔法ですが、脊髄くも膜下麻酔とは異なり、脊髄を覆うくも膜と硬膜の外側に局所麻酔薬や鎮痛薬を投与します。硬膜外麻酔単独で手術を行うことはまれで、全身麻酔と併用する 경우가大部分です。術後鎮痛(じゅつごちんつう)にも効果的ですが、手術の内容や術後痛の程度等により適応できない場合があります。

患者様との話し合いの上で、麻酔科医が患者様の手術内容に最適な麻酔方法を選択します。ご希望があればご相談下さい。



西条中央病院基本理念

西条中央病院は地域社会への奉仕の精神に基づき、生命の尊厳と人間愛を尊重し、親しまれ信頼される医療を提供します。

行動指針

1. 私達は患者さん中心の医療を提供いたします。
2. 私達は常に医療水準の向上に努めます。
3. 私達は思いやりと同心協力の心を大切にします。
4. 私達は患者さんの持つ権利を尊重します。
5. 私達は開かれた医療を進めます。

新任医師紹介



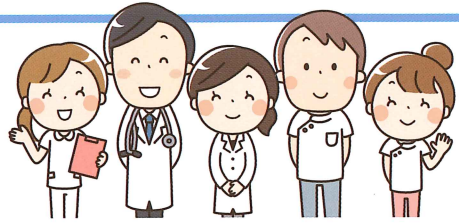
①氏名(ふりがな) ②診療科 ③卒業年 ④コメント

①村上 雅博(むらかみ まさひろ)

②産婦人科

③平成15年

④2019年7月より勤務させて頂く事になりました村上雅博です。奥さんの手料理が美味しいので結婚してからどんどん体重が増えました。転勤を機にダイエット中です。食事制限とサイクリングで、久しぶりに会った人から「少しやせた?」と言われるくらいになりました。涼しくなったらランニングをしようかなと思っています。私の走っている姿を見かけたら遠慮なく声をかけてください。



産婦人科診療体制について

2019年7月より産婦人科は常勤医師2人、非常勤医師3人となりました。これまでは分娩数や婦人科手術件数を制限してきましたが、体制強化しましたので地域の医療ニーズに応えられるよう積極的に取り組んでまいります。

常勤医1人体制では妊婦・胎児の安心安全を考慮して分娩数を制限してきました。当院で出産希望の妊婦さんを止むを得ずお断りすることがあり、ご迷惑をおかけしていましたが、今後はより多くの妊婦さんの受け入れが可能となります。合併症妊娠や多胎妊娠などハイリスク症例は、これまで同様に症例ごとに相談とさせて頂きます。

不妊治療についてはこれまで同様に一般不妊治療は対応していきたいと思えます。体外受精を希望される場合は適切な施設に紹介させて頂きますのでご理解願います。また思春期の月経異常や若年女性の婦人科検診などで女性医師による診察を希望される場合は予約の際にお申し出ください。可能な限り対応させて頂きますが、症状により緊急性があると判断される場合は男性医師が診察することもありますので予めご了承下さい。

当院では婦人科検診のみの場合は人間ドック

にて対応させて頂いておりますが、多くの検診者さんは子宮頸がん検診のみのAコースを希望されています。20から40歳で好発する卵巣嚢腫や子宮筋腫は経膈超音波でなければ診断できません。せっかくの婦人科検診の機会ですので子宮頸がん検診と超音波をあわせた検診Bコースを受けられることが理想的です。検診でお越しの際にはBコースを選択することをお勧めします。

婦人科腫瘍については子宮頸部異形成や子宮頸部上皮内癌は当院で治療可能ですが、基本的に悪性腫瘍は対応困難ですので精査のうえ適切な施設に紹介させて頂きます。良性疾患については症例ごとに十分検討したうえで可能なら腹腔鏡下手術も実施していきたいと考えています。現在、腹腔鏡下手術の導入の準備をしていますので卵巣嚢腫、子宮筋腫、子宮脱などの症例がございましたら是非ご紹介頂きたいと思えます。



部 署 紹 介 地 域 包 括 ケ ア 病 棟

～住み慣れた地域へ戻れるようチームで支援～

当院地域包括ケア病棟は、平成26年10月に35床からスタートし、平成28年7月より57床へ増床しました。更に今年の7月からは2つあった地域包括ケア病棟が1つの病棟となりました。病棟が1つになったメリットを活かし、新たに地域包括ケア病棟として、積極的に患者を受け入れ、在宅復帰に向けて退院支援を行っています。

地域包括ケア病棟とは、急性期の治療を終了しすぐに在宅や施設へ移行するには不安のある患者さんに対して、在宅復帰に向けて治療管理、看護、リハビリ等を行うことを目的とした病棟です。対象となる方は、入院治療により病状が改善したがもう少し経過観察が必要な方、入院治療により病状が安定し在宅復帰に向けてリハビリが必要な方、在宅復帰の準備が必要な方等です。入院期間は、60日を限度としています。病棟には、看護師、介護福祉士、ケアスタッフに加え、専従の理学療法士が配置され、作業療法士、言語聴覚士、医療ソーシャルワーカー、管理栄養士等の多職種が協力して、在宅復帰に向けた支援を行なっています。

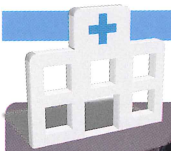
しかし、地域における高齢化に伴う核家族化や老々介護等の問題から、患者さんの「住み慣れた自宅に帰りたい」という思いに寄り添えな



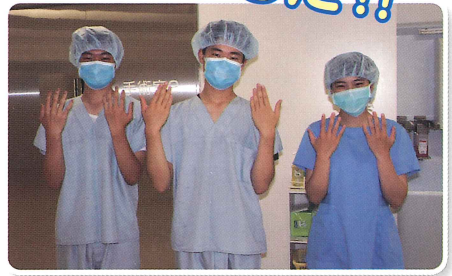
いケースもあります。このような方々の思いを少しでも叶えられるように、地域包括ケア病棟では、週に2回、看護師、リハビリスタッフ、医療ソーシャルワーカー、栄養士によるカンファレンスを開催し、在宅復帰への可能性を探しています。カンファレンスでは、患者さんの治療経過や病状、リハビリ状況、退院後の希望等の情報共有をすると共に、今後の方針を検討し、必要に応じて管理栄養士や薬剤師などの専門スタッフが幅広く関わります。退院が決定したら、地域の看護師やケアマネジャーと連携して退院前カンファレンスを開催し、安心して在宅での療養が行えるよう準備を進めていきます。

私たち受け持ち看護師が入院から退院まで関わることで、患者さんやご家族が不安や疑問に思ったことを気軽に相談できるように心掛けています。患者さんが安心して自宅で暮らせるまでの橋渡しが行なえるようチームで関わっています。今後も、患者さんの思いに寄り添った退院支援を行い、患者さんが安心してご自宅で過ごして頂けるよう、チーム一丸となって頑張っています。





中学生・高校生の職場体験を行いました!!



西条東中学校、西条南中学校、西条北中学校、西条高校の生徒さんを対象に職場体験を開催しました。



中学生の皆さんには、将来なりたい数ある職業の選択肢として、また高校生47名の皆さんには、今後の進学・就職に対する選択肢として、今回の体験を活かして頂きたいと願っています。今回の体験で、地元で働く魅力を感じてくれた事と信じております。そして、将来この地域での健康・医療を担ってくれたら幸いです。



参加して下さった生徒の皆さん、先生、協力下さった職員の皆さん、ありがとうございました。これから、生徒さん達が目指す進路に向かい、頑張っていけるようにエールを送りたいと思います。「夢に向かって頑張れ!!」



令和元年度西条中央病院病院

第15回 市民健康教室

「健康を守るために聴いておきたい大切な話」

10月26日(土)

入場 14時00分 開演 14時30分

(講演 14時30分～16時00分予定)

西条市総合文化会館 小ホール 問い合わせ先 TEL:0897-56-0300 総務人事課



今年も、市民健康教室を行います!!今回は、医師と認定看護師からの講演を企画しております。充実した内容を検討しておりますので、お時間許される方は、是非お越し下さい。

日本医療機能評価機構認定

西条中央病院

〒793-0027 西条市朔日市 804 番地
TEL (0897) 56-0300 FAX (0897) 56-0301
<http://www.saijo-c-hospital.jp/>

診療科目 内科・循環器内科・小児科・外科・整形外科・産婦人科・眼科
放射線科・リハビリテーション科・歯科・皮膚科・脳外科・泌尿器科
耳鼻咽喉科(休止中)・麻酔科(麻酔医 葛川洋介)

関連施設 血液透析センター・健康管理センター
通所リハビリテーション・居宅介護支援事業所・ついたちの里

病床種別 一般240床(うち地域包括ケア57・障害者93)感染症2床

当院までのご案内

